



中在寺宮前橋 平成23年5月 大雨



防災訓練の様子



通学危険箇所点検 (西大路小学校)

みんなで話そう 防災のこと。



仁本木地先 平成29年10月 台風21号



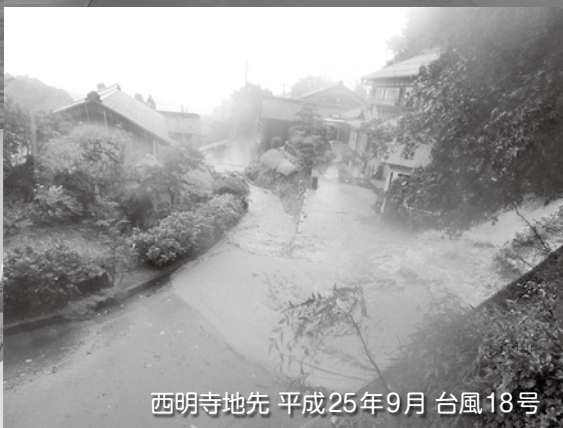
防災訓練の様子



防災訓練の様子



さくらっ子防災通学合宿の様子



西明寺地先 平成25年9月 台風18号

**出来ることから
始めてみませんか**

皆さんは災害が起こったときのために普段からどのような対策をされていますか？

近年、日本各地で地震や台風、集中豪雨など大きな災害が多発しており、日野町内でも台風による土砂崩れなどの被害が発生しています。

災害はいつ起こるか分かりません。災害から身を守るためには、日ごろからの備えが大切です。

今回は防災士の方に、地域での取り組みの大切さなどについてお話を伺いました。

また、もしものために、家庭で準備しておくものなどについてご紹介しています。

自分自身と大切な人を守るために、出来ることから始めてみませんか。



日野町防災士連絡会
やしまたかお
 防災士会会長 矢島孝男さん(上野田)

防災士になって変わったことは？

「人に自分の命は自分で守ろう」と言っているのですが、まず、自分や家族が災害の時にケガをしないよう、家具の固定などの『自助』を今まで以上に気を付けるようになりました」と話されました。

住民の皆さんに実施して欲しいことは？

「地域の防災力を高めてもらいたいです。5年防災士の



「こるとわかっていけば準備をするが、いつ起こるか分からないものに対して準備をするのは中々難しい。けれど、被害に遭われた方は、まさか自分が、と皆さんおっしゃっていました」と、自分は大丈夫だろうという『過信』の危険性について述べられました。

今後取り組みたい活動は？

「子ども達の防災活動にも力を入れたい」と矢島さん。「防災訓練を何回もしている子ども達は、学校の防災訓練の時に、ガラスの近くにいる子は離れて中庭の真ん中に集まったり、廊下にいる子は教室の机の下に入ったり、図書室にいる子は本棚から離れて机の下に入ったり、自分で考えて自分の命を守る行動ができる」と、町内の子ども達でも防災力に差があることを心配されており、子どもが自身を守る自助や、子どもを守るための共助の啓発に取り組みたいと話してくださいました。

もしものために～日ごろから準備をしておこう～

1. 家族で話し合しましょう

- 離ればなれになったときの集合場所
- ハザードマップや防災マップなどを使い、避難経路を確認
- 安否確認の方法



2. 家の中の安全対策をしましょう

- 本棚・タンスなど…上部をし字金具で柱や壁に固定する
- 食器棚…扉が開かないよう金具をつける
- 照明…蛍光灯は両端を耐熱テープで止める
吊り下げ型は、金具や鎖で数か所とめる
- 冷蔵庫…動かないよう固定する
- <家具の配置も工夫しましょう>
- ◆家具が倒れやすい方向に寝ない
- ◆家具が倒れても逃げ道がふさがらないように配置する



3. 非常持出品をそろえましょう

家族が最低でも3日間過ごすために必要な量が目安です。すぐに取り出せる場所に保管しましょう。

◎非常持出品～災害時最初に持ち出すもの～

- 懐中電灯（電池も忘れずに）
- 携帯ラジオ、携帯電話
- 貴重品（現金、通帳、印鑑、保険証、免許証）
- 救急医療品（傷薬、包帯、ばんそうこう、常備薬）
- その他（ヘルメット、軍手、下着類、ナイフ）

◎備蓄品～復旧するまでに数日間を支えるもの～

- 食料品・水（最低1日3ℓ/人×3日分）
- 燃料（卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料）
- 工具（ロープ、パール、はさみ、ジャッキ）
- その他（毛布、寝袋、ラップ、食器類、カイロ、マスク、眼鏡、簡易トイレ）

公助と共助で「災害に強い町づくり」を

「自主防災組織の設立には補助金を活用ください」

災害時は、行政が担う「公助」の他、自分のことは自分で守る「自助」や、地域の人達で助けあう「共助」が必要不可欠となります。

この共助の中で重要な役割を担うのが、地域に根差した「自主防災組織」です。自主防災組織とは自治会等が母体となり、地域住民が自主的に防災訓練や防災資機材点検等の活動に取り組み任意団体です。災害時は、初期消火や住民の避難誘導等を行い、地域の住民が協力しあうことで災害時の被害を最小限にすることが出来ます。

町では、自主防災組織の設立に向け補助金制度を設けており、町内ではこ

「災害時要支援者名簿」の作成にご協力をお願いします

町では、一人暮らしの高齢の方や障がいのある方など、災害時に避難する際に、支援が必要な方を特定し、「誰が支援」して「どこへ避難」するのかをあらかじめ決めておく取り組みを進めています。

現在、災害時要支援者名簿は、対象の方本人の同意を得て、民生委員さんが、配慮が必要な事項や緊急時の連絡先などを聞き取りし、作成していただいています。

完成した名簿は、役場、民生委員、

の補助金制度を活用した自主防災組織が多数設立されています。

また、町では、防災情報が住民の皆さんに届くよう防災情報伝達手段の整備を進めています。災害時に重要な情報を、少しでも早く確実に皆さんへ伝達し、災害による被害を軽減するよう努めています。

公助と共助が上手く機能することが「災害に強い町づくり」に繋がります。自主防災組織の設立に向けて取り組みましょう。

◆問い合わせ先

総務課 総務担当
☎0748-521-6500

区長が保管し、災害時に活用することとしています。

今後、支援が必要な方の具体的な避難方法について、地域で話し合い、災害時に「逃げ遅れがゼロ」となるような名簿の作成にご協力をお願いします。

◆問い合わせ先

福祉保健課 福祉担当
☎0748-521-6573
長寿福祉課 高齢者福祉介護担当
☎0748-521-6501

日野町消防団ポンプ操法訓練大会

大会結果

「小型ポンプの部」

優勝 第3分団Aチーム

指揮者：藤崎 敦史さん

1番員：木村 淳さん

2番員：奥井 優さん

3番員：中西 康二さん

「ポンプ車の部」

優勝 第3分団

指揮者：東 裕伸さん

1番員：小泉 昴さん

2番員：三添 保さん

3番員：服部 孝紀さん

4番員：井上 澄重さん

6月23日(日)、必佐小学校グラウンドにて、消防技術の向上と消防団員の士気の高揚を目的に「第39回日野町消防団ポンプ操法訓練大会」が開催され、迅速、安全、的確に消防ポンプなどを扱う消防活動のための基本技術を競われました。

消防団員の皆さんは、優勝をめざし約1か月間、早朝訓練に励んでこられました。本番では、チーム全員が心をひとつにして訓練の成果を発揮し、見事なポンプ操法を披露されました。

なお、結果は下記のとおりです。優勝チームの皆さん、おめでとうございます。また出場された消防団員の皆さん、お疲れさまでした。



小型ポンプの部 優勝 第3分団Aチーム



ポンプ車の部 優勝 第3分団



湖東信用金庫さんから トイレットペーパーを寄贈していただきました

このたび、湖東信用金庫さん（山本英司理事長）から、リサイクルトイレットペーパーを500ロール寄贈していただきました。このトイレットペーパーは、湖東信用金庫内の廃棄文書をリサイクルして作られたもので、平成20年から毎年寄贈していただいています。これらは、町の教育施設で使用させていただきます。ありがとうございました。

100歳おめでとうございます

～お体を大切に、いつまでもお元気でいてください～



いちおか 市岡 志づさん（音羽）

6月3日に音羽の市岡志づさんが100歳のお誕生日を迎えられ、町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。

市岡さんは、日野のお生まれで大阪や神戸で暮らされた後、音羽へ帰ってこられました。ゲートボールをしたり、お茶を習ったり、音羽の皆さんと楽しく過ごされていたそうです。現在はリスタあすなるで食事もしっかりとって、元気に過ごされています。当日はご親族の方に囲まれ、ここにこそ素敵な笑顔を見せてくださいました。

架空請求メールに注意



架空請求メールの 特殊詐欺

架空請求メールの特殊詐欺の被害は全国で発生しており、日野町でも通信販売大手会社を語る架空請求メールで、約490万円をだまし取られる被害がありました。

内容は、携帯電話に「登録料金が未納で、法的手続きに移行する」などとメールがあり、記載された電話番号に連絡すると、相手の男に「ブラックリストから名前を消すためお金が必要」「後日返金をする」と言われ、10回に渡り約490万円分のギフト券をコンビニで購入。相手の男にギフト券の番号を伝えると全額分をだまし取られるというものでした。

今後の対策ポイント

① ② ③ ④

① ② ③ ④

② 絶対に連絡しないようにしよう

③ ギフト券の番号は知らせない

④ まずは相談を

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当 消費生活相談窓口担当
滋賀県消費生活センター 消費生活相談窓口担当
消費者ホットライン短縮番号 0748-5212500
0749-2310999
188